

県産農産物の放射性物質検査結果について（第15報）

平成23年6月2日
 千葉県農林水産部安全農業推進課
 電話：043-223-3080
 千葉県健康福祉部衛生指導課
 電話：043-223-2639

県では、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に関連して、県内農産物の安全確認を行うため、国の協力を得ながら放射性物質検査を行い、その結果が判明しましたので、お知らせします。

今回、9地区7品目9検体を分析した結果、すべて暫定規制値以下であったことから、安全性が確認されました。

今後も、定期的に農産物の放射性物質検査を継続して行い、県産農産物の安全性について、迅速な検査結果の公表に努めます。

○分析結果

分析機関：厚生労働省横浜検疫所 No. 1～3

(財)食品環境検査協会横浜事業所 No. 4～9

単位：ベクレル/kg

No.	栽培地	採取日	品目	栽培状況	放射性ヨウ素 131	放射性セシウム 134と137の合計
1	館山市	6月1日	びわ	露地	検出せず※	10.58
2	南房総市	5月31日	びわ	露地	検出せず	16.56
3	鋸南町	5月31日	びわ	露地	検出せず	6.04
4	船橋市	5月30日	にんじん	露地	検出せず	検出せず
5	鎌ヶ谷市	5月30日	だいこん	露地	検出せず	検出せず
6	栄町	5月30日	トマト	パイプハウス	検出せず	検出せず
7	茂原市	5月30日	キャベツ	露地	検出せず	検出せず
8	いすみ市	5月30日	そらまめ	露地	検出せず	検出せず
9	大多喜町	5月30日	たまねぎ	露地	検出せず	検出せず

※ 「検出せず」とは、放射性物質が存在しない、若しくは検査機器の測定できる能力より低いわずかな量が存在することを示す。

暫定規制値（野菜類）

放射性ヨウ素：2,000ベクレル/kg

放射性セシウム：500ベクレル/kg

注) ベクレル：放射能の強さを表す単位で、単位時間（1秒間）内に原子核が崩壊する数を表す。